

平成26年度福島県立相馬養護学校における「地域で共に学び、共に生きる教育の推進」

タブレット機器を活用した地域との連携事業

～「交流及び共同学習」と「地域の特別支援教育のセンター的機能」としての取組から～

1 事業企画

平成26年度公益財団法人福島県学術教育振興財団助成対象事業

＜本校事業名＞ 養護学校におけるインクルーシブ教育システムの構築を
めざしたタブレット機器の有効活用

2 目 的 ※タブレット機器は以下：機器

- (1) 交流及び共同学習において機器を活用し、地域の小中学校の児童生徒及び老人施設の人たち(※以下：交流機関)と相互の触れ合いを深め、児童生徒の豊かな人間性を育む。
- (2) 実態や発達段階に応じて機器を活用し、自己紹介・メッセージVTRを作成したり、コミュニケーションツールとしてかかわったりして触れ合いを深める。
- (3) 交流及び共同学習の担当者間における事前・事後の打ち合わせや地域の特別支援教育のセンター的機能として関係機関との連携で有効に活用する。

3 交流機関 ※交流及び共同学習は以下：交流

＜小学部＞：学校近隣の小学校・本校児童居住地校で交流する小学校
＜中学部＞：市内中学校の特別支援学級 ＜高等部＞：近隣の老人施設
＜地域の特別支援教育センター『しせい』＞：関係機関との相談事業等

4 活用機器

タブレット機器
データベース用パーソナルコンピュータ

5 活用方法

①事前事後における交流機関の担当者間の打ち合わせ	・ 機器活用の目的、方法の説明と打ち合わせ ・ 本校児童生徒の学校生活の様子を紹介
②交流校、本校の事前学習	・ 自己紹介、当日の活動説明VTRの作成と視聴 ・ 要望に応じて事前授業に本校職員も参加
③交流当日	・ 活動内容の説明、自己紹介VTR、画像の視聴 ・ コミュニケーションツール
④交流の事後学習	・ 当日の振り返り（画像、VTR） ・ 感想、メッセージVTRの作成、視聴
⑤関係機関との連携	・ 地域の「幼稚園、保育所、小・中学校、高等学校」、 「医療・保健・福祉・労働機関」等との相談及び連携
⑥研修、講習会、事業の広報	・ 研修、伝達、講習会の実施、Web等での広報

今後、事業の実際・経過について、更新します。

6 そ の 他

○不明な点がございましたら、下記までご連絡ください